

2 0 1 5 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人にじのこ福祉会

事業報告

社会福祉法人にじのこ福祉会

1. 法人の概要

経営主体	社会福祉法人 にじのこ福祉会
所在地	岡山県岡山市中区桜橋三丁目1番51号
	TEL 086-272-4111
	FAX 086-272-4171
代表者	理事長 浪尾淑子
法人設立年月日	2010年7月1日

2. 法人事業活動状況

2014年7月1日より第3期役員・評議員による法人運営を行っている。

事業拡大

今年度は、岡山市認可保育所整備運営事業者により、園舎を増築し、120人定員の保育の実現のための準備を整えた。目的は、地域における待機児童解消、要望の多い一時保育の充実、在園児の保育環境のさらなる充実である。

4者協議会

岡山医療生活協同組合、(株)協同プランニング、(社福)岡山中央福祉会との4者協議会では、「医療・子育て・介護」のそれぞれの分野を担う法人が集まり、地域に貢献できる事業展開を継続して協議していくことを目的としているが、本年度は6月以降開くことが出来なかった。「震災もちつき」は共同で取り組んだ。

岡山医療生活協同組合とは、毎月開かれる「子育てサポート委員会」に出席し、ともに地域の子育てを応援する活動を支えている。具体的には、「どんぐりフェスタ」「ママ's カフェ」「宿題応援隊」「タッチケア」などがある。また、高齢者と子どもの交流として「ふれあい会食」などにも取り組んでいる。

また、今回の園舎増築にあたり、大型遊具設置にかかる費用の一部を岡山医療生活協同組合や協同プランニングから寄付して頂いた。

3. 理事会・評議員会 開催状況

理事会開催状況

開催年月日	出席者人数	議題	欠席者氏名	出席監事氏名
H27 5/22	理事7名 監事2名	第1回理事会 経過報告 1号議案：2014年度社会福祉法人にじのこ福祉会事業報告書(案)について 2号議案：2014年度社会福祉法人にじのこ福祉会決算報告書(案)について [監査報告] 3号議案：2015年度第1回補正予算について		岡野鈴子 藤原弘典
H27 10/28	理事7名 監事2名	第2回理事会 経過報告 1号議案：定款変更について 2号議案：固定遊具の設置およびリース契約について 3号議案：追加工事の契約について 1 4号議案：2015年度第2回補正予算について 5号議案：処遇改善等加算賃金改善要件分について 6号議案：規定の改定について 7号議案：保育所変更届について		岡野鈴子 藤原弘典
H28 3/16	理事7名 監事2名	第3回理事会 経過報告 1号議案：規定の改定 2号議案：空気清浄機の購入及び設置工事、業者の選定について 3号議案：2016年度の労働組合からの要求		岡野鈴子 藤原弘典
H28 3/30	理事6名 監事2名	第4回理事会 経過報告 1号議案：2015年度第3回補正予算について 2号議案：岡山協立保育園の定員変更について 3号議案：2016年度事業計画書について 4号議案：2016年度当初予算について 5号議案：規定類の改定について 6号議案：当座貸越の契約更新について	尾崎務	岡野鈴子 藤原弘典

1 第2回理事会第3号議案については、議事内容が理事長専決事項であったため、議決事項から承認事項へ変更したため、議題から削除した。

評議員会開催状況

開催年月日	出席者人数	議題	欠席者氏名	出席監事氏名
H27 5/22	11名	第1回評議員会 経過報告 1号議案：2014年度社会福祉法人にじのこ福祉会事業報告書(案)について 2号議案：2014年度社会福祉法人にじのこ福祉会決算報告書(案)について [監査報告] 3号議案：2015年度第1回補正予算について	伊原潔 狩野毅 武田英夫 山崎晶弘	岡野鈴子 藤原弘典
H27 10/28	10名	第2回評議員会 経過報告 1号議案：定款変更について 2号議案：固定遊具の設置およびリース契約について 3号議案：追加工事の契約について 2 4号議案：2015年度第2回補正予算について 5号議案：保育所変更届について	伊原潔 上羽佳子 狩野毅 清水博文 中西直美	岡野鈴子 藤原弘典

H28 3/30	13名	第3回評議員会 経過報告 1号議案：2015年度第3回補正予算について 2号議案：岡山協立保育園の定員変更について 3号議案：2016年度事業計画書について 4号議案：2016年度当初予算について 5号議案：規定類の改定について 6号議案：当座貸越の契約更新について	景山一正 長尾和季	岡野鈴子 藤原弘典
-------------	-----	---	--------------	--------------

- 2 第2回評議員会第3号議案については、議事内容が理事長専決事項であったため、議決事項から承認事項へ変更したため、議題から削除した。

4. 監事監査の実施状況

2015年5月22日（金）9:00～ 岡野鈴子監事（業務監査）・藤原弘典監事（会計監査）

5. その他

職員採用試験

（栄養士）	2015年 7月25日（土）9:00～14:30	新卒1名採用
（保育士）	2015年 8月22日（土）9:00～14:30	新卒1名採用
（保育士）	2015年10月24日（土）9:00～14:30	新卒1名採用
（保育士）	2015年12月19日（土）9:00～14:30	新卒1名採用
（保育士）	2016年 3月 5日（土）9:00～14:30	

	4者協議会
4月	4/30（木）
5月	5/29（金）
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

事業報告

岡山協立保育園

1. 保育を取り巻く状況

待機児童数

厚生労働省は、2015年4月の待機児童数は23,162人で、同年10月の待機児は45,315人と公表している。これらは、いずれも前年度を上回っている。また、岡山県の待機児童数は、4月79人、同年10月111人と発表されており、同様に前年度を上回っている。県の集計には加えられていないが、政令指定都市である岡山市の待機児童数は、4月134人、同年10月128人になっている。

子ども・子育て新制度

2015度から導入された新制度は、介護保険制度をモデルにし、「措置」から「契約」へとこの社会福祉基礎構造改革の一環として保育分野での具体化がされたものである。

この制度では、保育園の「運営費」は「委託費」に変更になり、保護者が利用できる保育時間が標準時間（11時間）と短時間（8時間）になった。そのほか、委託費の中に「3歳児配置改善加算」や「減価償却費加算」「賃借料加算」「チーム保育推進加算」などが新たに加えられた。補助金で新設されたものとしては、「療育支援加算」「小学校接続加算」「栄養管理加算」などがある。国の最低基準を見直すまでにはいかないが、一定の条件を満たせば、補助対象の人の配置に対する補助を出すなどの改善が見られた。しかしながら、これらの申請書類が一気に増え、詳細な記載を求められるため事務負担が増えている。

新制度では、保育所、幼稚園、認定子ども園、地域型保育事業（小規模保育所・事業所内保育所）などすべての施設に公的資金が投入されるが、子どもが育つ条件は統一されていない。子どもたちに平等に保育を保障するためには、国や自治体など公の責任が不可欠であり、児童福祉法24条1項をもとに、認可保育所の増設こそが保護者の願いや子どもの育つ条件を整備すると考える。

【岡山市】

岡山市は、「子ども・子育て支援事業計画」で、公立保育園や幼稚園のうち30施設を公立の認定子ども園にし、残りは民営化や廃止を考えている。またその一方で、国が推し進める地域型保育事業所にも力を入れ始めている。

岡山市は、2014年度事業により2015年度～2016年度に開園増員する認可保育園が、中区に5施設北区に2施設、また地域型保育施設の拡充にも努めたが、年間通して900人～1000人程度の子どもが入園できない状況にあった。また、2015年度事業により、認可保育園が北区に新設で3施設と南区に1施設増員が予定されており約340人の受け入れを予定している。そのほか、施設型保育施設6園の開園を認めている。

2. 岡山協立保育園の概要

(1) 地域の概要

岡山協立保育園は、岡山駅から車で約10分のところに位置しており、高齢者が多い地域になっている。街の中心部であるため、周囲2キロ以内には認可保育園が13園あり、保護者は勤務地に近いなどの理由で利用するケースが多くなっている。

在園児(年度末の状況)は、岡山市全域から登園しているが、中区が一番多く約74.2%を占めている。その他の地域では、南区が約12.9%・北区が約9.7%・東区が約3.2%になっている。地元東山中学校区の割合は、全体の約40%(平井小学校区約23%、旭東小学校区約17%)を占めている。園児は、岡山市内全域から登園しており、30小学校区から通って来ている。ここ最近では、地元からの入園が増えている。

(2) 施設の概要

- ・敷地面積 3675.3 平方メートル(うち駐車場の一部は借地...394.64 平方メートル)
- ・延床面積 1064.5 平方メートル
(園舎 792.49 平方メートル・増築園舎 251.29 平方メートル・屋外倉庫 20.72 平方メートル)

(3) 定員

- ・保育事業 定員 90 名(各年齢 15 名)

(4) 受入年齢

- ・受入年齢 生後 57 日目から就学前まで

(5) 保育時間

措置児

- ・午前7時から午後6時まで(延長保育は午後6時から午後7時まで)

一時保育利用児

- ・午前7時30分から午後7時まで

(6) 保育方針

- ・一人ひとりの子どもを大切にすること
- ・父母の労働を保障すること
- ・父母と園が連帯を持って、地域の人々の信頼と協力を得ながら保育の輪を広げる
- ・職員は保育の向上と充実に向けて学習につとめる

(7) めざす子ども像

- ・健康な子ども
- ・生活やあそびをつくりだす子ども
- ・ともだちと共に育つ子ども
- ・働く喜びがわかる子ども

(8) 年間利用児童数 (2016 年 3 月 31 日現在)

- ・ 定員超過率 122.5 % (昨年度比 + 7.3 %)
- ・ 月平均在籍数 110.25 人 (昨年度比 + 6.6 人)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	3	4	5	5	6	7	8	9	12	15	17	18	109
1歳	21	21	22	22	23	23	23	24	24	24	23	25	275
2歳	22	22	22	22	21	21	20	20	21	21	21	23	256
3歳	21	20	23	23	23	25	25	25	25	26	26	26	288
4歳	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
5歳	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	203
合計	100	100	105	105	106	109	109	111	115	119	120	124	1323
入園児数	12	1	5	0	3	3	2	2	5	4	3	5	37
退園児数	1	0	0	2	0	2	0	1	0	2	1	0	8

退園理由...入所理由消滅(育休取得による退園)・転居など

(9) 一時預かり利用児童延べ人数

- ・ 年間開園日数 254 日 (昨年度比 + 3 日)
- ・ 一日平均利用人数 約 14.6 人 (昨年度比 + 1.9 人)
- ・ のべ利用人数 3,699 人 (昨年度比 + 523 人)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労・就学	150	137	146	150	170	128	168	162	145	188	183	228	1955
緊急 (出産・傷病・慶弔)	1	2	11	33	31	27	39	17	14	0	0	2	177
私的理由	83	102	126	118	133	167	157	132	115	127	164	143	1567
合計利用数	234	241	283	301	334	322	364	311	274	315	347	373	3699

(10) 延長保育事業 18 時 ~ 19 時

- ・ 一日平均利用人数 約 7.6 人

(11) 職種別職員数 (2016 年 3 月 31 日現在)

() は非正規の人数・派遣を含む

形態	職種	施設長	主任 保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	保育補助	合計
常勤職員		1 人	2 人	13(5) 人	1 人	2(1) 人	1 人	人	20(6) 人
短時間職員				12(12)		1(1)		1(1)	14(14)
合計		1	2	25(17)	1	3(2)	1	1(1)	34(20)

(12) 年間行事、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

実施月	保育園行事	健康管理 安全管理 災害訓練	地域行事への参加 行政・他団体との連携行事
4月	進級おめでとうの会 いのちを大切に作る日		
5月	端午の節句の会 保護者総会・父母の会総会・給食試食会	フッ素塗布	
6月	親子バス遠足 保育参観週間 クラス懇談会	救命救急講習会 定期健康診断 ぎょう虫・尿検査	旭東こどもまつり (旭東小学校)
7月	七夕の会 土用の丑の日の会 お泊り保育 劇団風の子観劇	歯科検診	交通安全教室 (岡山市生活安全課)
8月	プールじまいの会		宿題応援隊(岡山医療生協) 民話の会(旭東児童センター)
9月	おつきみかい 中秋の名月の会	フッ素塗布	平和の風船とばし(4者協議会)
10月	ちびっこまつり 芋掘り遠足		4園交流運動会 (旭東幼稚園・旭東保育園・博愛会保育園)
11月	お泊り保育 就学前懇談会 保育参観週間 お弁当の日	定期健康診断	交通安全教室(岡山市生活安全課) 岡山ドーム(岡山市私立保育園園長会) 人形劇(福祉交流プラザ旭東)
12月	クリスマス会 クラス懇談会		
1月	七草の会 鏡開きの会 おおきくなあれのつどい	フッ素塗布	絵本を楽しむ会(旭東小学校)
2月	節分の会 角笛シルエット公演観劇		絵本を楽しむ会(旭東小学校)
3月	卒園児の会 ひなまつり茶会 おわかれ遠足 卒園式		震災支援もちつき(4者協議会) 交通安全指導(岡山市生活安全課)
定例	園庭開放 個人懇談 家庭訪問	避難・消火訓練 身体測定	中区子ども相談センター巡回訪問 子育てサポート委員会 ふれあい会食(岡山医療生協) 赤ちゃんマッサージ(岡山医療生協) 保育士養成校保育実習受入れ 看護学生保育実習受入れ 旭東民児協(民生委員児童委員協議会)

(13) 職員会議・職員研修

職員会議

- ・職員会議 毎月第1土曜日
- ・総括会議 2/14(土)・2/15(日)
- ・方針会議 3/7(土)・3/8(日)

職員研修

	主催	研修名	日時	参加者
全国・中四国	全国保育問題研究協議会	全国集会	5/29～31	2人(提案1人含)
	全国私立保育園連盟	全国集会	6/17～19	2人(記録1人含)
	全国保育団体連絡会	全国集会	8/1～3	2人
	全国幼年教育研究協議会	全国集会	8/22～23	3人
	中国5県保育団体合同研究会 集会実行員会	中国5県	10/31～11/1	11人(提案1人含)
	中四国経営婚	中四国経営セミナー	12/21～22	1人(会計1人含)
	全国民間保育園経営研究懇 話会	全国経営研究セミナー	1/12～13 1/13 1/12～14	1人 1人 1人
岡山県	岡山県民間保育所協議会	園長視察研修会	2/13	1人(責任者1人)
		幹部研修会	8/28	2人(責任者1人)
		新任保育士研修	3/2	3人(次年度採用職員)
		岡山地区保護者研修会	12/5	3人(責任者1人)
岡山県給食協議会	特定給食施設関係者	8/5	1人	
倉敷	倉敷コ研	保育実践研修 (乳児・幼児)	4/29	2人
		倉敷例会 (幼児の遊びと環境)	6/27 9/5 11/28	3人
津山	インターナショナルすこやかキッズ	運動会種目講習会	4/12	3人
岡山市	岡山市私立園長会	主任・上席研修	7/13	2人
	岡山市保協研修	岡山市保育研究大会	11/14	2人(研究委員1人)
		岡山市保育協議会総会	5/23	6人
		年齢発達に合わせた描画指導	5/22	1人
		子どもの思いに心をよせて	7/14	1人
		攻める防犯	8/3	1人
		発達障がい児の理解と支援	9/18	1人
		保育者としての自己肯定間を高める	11/24	1人
		葉と口から伝える食育	10/28	1人
食物アレルギーと乳幼児	1/22	1人		

ブロック	4 ブロック	4 ブロック公開保育	10/29	2 人（研究委員 1 人）
		4 ブロック研修会	年 1 8 回程度	1 人（研究委員 1 人）
自主研修	岡山保問研 例会	食育	2 月に 1 回程度	1 人
		乳児	2 月に 1 回程度	3 人
		障がい児	2 月に 1 回程度	2 人
		あそび	2 月に 1 回程度	2 人
園内研修	園内保育研修会	公開保育 1 回（野崎末子）	12/7 ~ 12/16	全職員
		発達学習会 1 回（田中真介）	2/13	全職員
		乳児保育学習 2 回（小林純子）	10/3 10/17	全職員
		わらべうた（高城敏子）	2/19	全職員

（14）その他（建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等）

建物の取得

- ・2015年9月30日 増築園舎取得（完了検査 9月18日）

建物・備品等の修理・修繕

- ・食器洗浄機 修理（2回）
- ・スチームコンベクションオーブン 修理
- ・ホール『ひやりん』設置スペース 床修理
- ・コルクフロア（つくし組）修理
- ・エプソンデスクトップパソコン ハードディスク不具合による修理
- ・電解水精製器 修理
- ・おしぼり機 修理

設備・備品等の整備

- ・3 未保育室（れんげ組・すみれ組）用 ABCプレイソファ（2台）購入
- ・おむつ交換台 購入
- ・園庭ゴムチップ 張替え
- ・半屋内広場固定遊具 設置
- ・アルミ避難車 1台

3. 2015年度の総括

保育内容

- 私たちの保育についての考え方 -

私たちは、「一人ひとりを大切にする」という理念を持っている。

集団保育の中で、一人ひとりを大切にする保育を実践するため、乳児保育では「育児担当制」と「流れる日課」を、幼児保育では「異年齢混合保育」に取り組んでいる。

「育児担当制」（0～2歳児）

子ども達は、毎日決まった大人に関わってもらうことで、情緒が安定し、落ち着き、深い人間関係を築いていく。そういう当たり前の暮らしを保育園で保障するために、一人ひとりの子どもに担当の保育士を決め、子どものことをより深く理解し、目に見えにくいちょっとした心の変化や、昨日と違う今日の変化も感じ取れるように心がけて保育をする。

「流れる日課」（0～2歳児）

この時期の子どもの成長発達にとって、「眠り」は最も大切なもので、「眠り」を中心に、一人ひとりに合わせた一日の日課を作る。自ら眠り、おなかいっぱい食べ、しっかり遊んで、また眠る。この繰り返しが、やがて生活の見通しになり、自分で生活できる力の土台（主体性）をつくると考える。

「異年齢混合保育」（3～5歳児）

3歳以上児は、3・4・5歳の混合保育を行っている。この保育は、少子化が進み地域社会が閉塞的になり、異年齢での交流が少ない現代において、子ども同士の関わりを豊かに保障するねらいがある。異年齢混合保育は、子どもの心の中にあこがれの気持ちや思いやりの気持ちを育て、自分自身に対する自己評価や自己像の形成を助ける。また、子どもたちのつながりが自然にでき、友達の見方が多面的になる。異年齢の存在があることで、子どもや保護者が、大きくなることへの見通しを持ちやすく、保育士も3年間の発達段階の中を生きるひとりひとりの子どもとして、その違いにより注目し、保育していくことが可能になると考える。

【保育内容をとらえる視点】

保育士は、普段の保育の中で、子どもが出来るようになった「結果」だけでなく、取り組みの「過程」の中にある、子どもの「ちょっとした変化」や「心の葛藤」を、その都度言葉にして丁寧に伝えることを心がけている。また、こうした対応は、大人が子どもを「認める」といったレベルにとどまらず、行動と言葉と感情が一致することで、その子の考えや思いが明確になり、やがて自己を確立する段階で、自己一致した人間に育つと考えている。

この丁寧な関わりこそが、私たちの保育の質の中心にあるものだと考える。また、大人に変化を認めてもらうことで、自分自身の変化に気付き、よりよい自分になろうとする意欲（向上心）を引き出すことにも繋がって行くと考えている。

保育で大切なことは、子どもがやってみたら「できたーできなかった」「面白かったー難しかった」「自信になったー不安になった」という子ども自身が感じる感情を、大人が理解し共感することである。そして、大人が理解してくれたからこそ生まれる安心感やそこを基盤とする向上心、そしてチャレンジし達成できた時の喜びが自信になり、さらなる高みを乗り越えるための新たなエネルギーになっていくと考えている

また、保育士は子どもとの関係の中で、受容と共感が成立していくにしたがって、より本格的な指導を展開できるようになる。型にはめる指導ではなく、共感と納得の指導「ここではこんなことをしてはいけない」「ここはあなたが頑張らないといけない」など、子どもの心に迫る指導が可能になる。このことによって、子どもは自分をコントロールする力を身につけるのだと思う。

私たちは、子どもひとりひとりをよく見て、子どもの心を支え育む保育をこれからも実践していきたい。

【子どもの姿と保育】

2014年度3月より、新しいクラス的环境に慣れるための保育をスタートさせた。すべてのクラスで1~2名の担任が持ち上がる体制がとれたことで、4月当初12名の新入園児がいたが落ち着いて保育を始めることができた。また、次年度の定員増を見越して、増築園舎が完成した時点で、受け入れを増やしていった。

行事をとおして

子どもたちは、年間で行う季節の行事を楽しみにしている。また、保育内容を発表する行事では、「プールじまいの会=プール活動発表会(8月)」「ちびっこまつり=運動会(10月)」「おおきくなあれのつどい=表現活動発表会(1月)」などに期待を持って取り組むことが出来た。また、「卒園式」では、5歳児らしい姿を見ることが出来た。

それぞれの行事を観覧した保護者のみなさんからは、「取り組みの様子を子どもが話してくれるので楽しみです」「子ども達の成長した姿が感動的だった」「よく頑張っていた」との言葉を頂いた。

とくに、卒園式では1時間という長い時間を、どの子も緊張を乗り越え、主体的に堂々とした態度で証書を受け取ることができた。卒園式は、子どもたちにとって、保育園で過ごしてきた日々の集大成であり、保育園最後の晴れ舞台でもある。この日、卒園式に参加して下さった来賓の方々は、子どもの堂々とした振る舞いや表情、長時間にわたる集中力や歌を高く評価して下さるとともに、感動的だったと述べて下さった。私たち保育士も、子どもの姿や園外からの評価を受け、自信になった。

各行事の参加のべ人数(園児・保護者・地域の方・職員)

- | | |
|-----------------|-------------|
| ・ちびっこまつり参加者 | 424人 |
| ・おつきみかい参加者 | 473人 |
| ・おおきくなあれのつどい見学者 | 100人(観覧者のみ) |

食育をととして

今年度は、3歳児以上の子ども達が、給食の下ごしらえに参加した。具体的には、筍の皮むき、空豆のさやむき、トウモロコシの皮むき、よもぎつみなどに取り組んだ。

5歳児のつくって食べる活動では、保育園駐車場内のひまわり畑でボランティアの協力のもと、季節の野菜を栽培収穫し、調理して食べる取り組みを行った。

また、5歳児は毎日行うお当番活動の一環として、給食の下ごしらえ（皮むきや野菜を切る作業）にも取り組んだ。子ども達も、保育園の給食を支える活動であることを自覚し、意欲的に取り組む姿があった。また、この下ごしらえ当番は、子どもが家庭で、してもらうことが当たり前の生活から、家族の一員として家事の一部を任せられ、頼られる存在であってほしいという願いも込められた取り組みだ。

とくに食べることに興味の薄い子どもは、生活全般でも受身で、さまざまな経験が乏しい傾向がみられる場合が多かった。毎日の生活に自分が関わる活動は、これらの子どもへの刺激となり、良い変化がみられることが多かった。今後も、保育園にとって必要な仕事を任せられる経験や毎日行われる生活の営みに自ら関わることで、子どもの生活力や主体性を育む保育に取り組みたい。

安全対策

< 非常時訓練 >

月1回の「避難訓練」「消火訓練」を実施した。3月には、中区消防署旭東出張所の職員の立ち会いのもと、避難訓練と水消火器を使った消火訓練、消防自動車の見学を行った。新しいクラスに移行して間もなかったが、毎月の避難訓練の成果もあり子ども達が静かに迅速に避難する姿を見て、消防署の職員が「避難時間も短く、避難態度も良かった」とほめて下さった。通報訓練では、直接消防署とのやり取りを経験できた。

< 非常災害時への対応 >

万が一を想定し、非常災害時の備蓄食料を増やした。現在は、園児と職員で、6食分の離乳食・食事・水・簡易トイレ・アルミシート・メガホン・ラジオなどを備蓄している。

また、岡山市より「岡山市緊急告知ラジオ」の支給を受け設置している。これは、緊急地震速報や避難勧告・指示などを大音量で伝えるもの。

園では、災害時など緊急時の連絡を保護者と確実にを行うための緊急メールを設置している。このシステムは、県外にメールサーバーがあり、子どもたちの安否情報を確実に伝えることが出来る。

< 事故への対策 >

岡山協立病院の職員さんに来園してもらい、心肺蘇生の実地訓練を行った。保育園にも設置してある、AEDの使い方や乳幼児や大人の心肺蘇生、誤飲時の対処などを、保護者を交え実践した。

参観、懇談会

保育参観（年 2 回）や個人懇談または家庭訪問（年 1 回以上）など、保育中での子どもの姿を参観したり、子どもと一緒に活動する機会や、担任と保護者が話をする機会なども設けた。

保護者の状況を見ると、保育園行事への参加人数は毎年増えているが、クラス懇談会の参加者は、それに比べ少ない現状にある。今年度も、クラス懇談会で子ども達の普段の様子を動画で上映し、子どもたちの姿を通して、その年齢の発達についての話をした。その後、保護者同士がグループに分かれて話し合った。

- 保護者の参加状況 -

- ・保育参観（保育参加）に参加した世帯数 86.8%
- ・個人懇談または家庭訪問実施した世帯 76.0%
- ・クラス懇談会に参加した世帯 56.0%

—保護者の感想より—（クラス懇談会の感想の一部を紹介）

現在の発達段階を知ることが出来て勉強になった。

子どもが口癖のように「なんで？」「なんで？」と連発していますが、「なんでだと思う？」と子どもに尋ねることも必要だと感じた。

夕方の懇談会は時間が短いが、たくさんの方が参加し、日ごろ会えないお母さんとも話が出来てよかった。

自分の悩みや考えが話せてスッキリした。参考になる意見が多くあった。

他の家庭の話が聞けて、反省するところもあり、自分を見つめ直すよい機会になった。

父母の会活動

役員会が、毎月 1 回開かれた。「おつきみ会」および「ちびっこまつり」の実行委員会や当日の準備などに、保護者が積極的に参加した。また、「パパ飲み会」「ママ飲み会」「花火大会当日の屋上開放」なども行った。さまざまな角度から保護者同士のつながりができるような取り組みを行った。

このような活動を通して、家族のことや仕事のことなどをゆっくり話すことができる機会が持てたため、保護者同士の親睦が深まったと感じる。

「卒園児とその保護者の会」のメンバーを対象とした卒園児の会では、30 人が参加し作って食べる活動として、カレー作りを行った。作りながらの会話、食べながらの自己紹介、久しぶりの同窓会を喜ぶ姿が、あちらこちらで見られた。

多世代・ボランティアとの交流

高齢者との交流では、5 歳児が、ふれあい会食に年間のべ 10 回参加し、お年寄りとの交流を楽しんだ。また、地域のボランティアには、保育園行事などに参加してもらった。

季節の行事や平日に、アップル文庫の方が絵本の読み聞かせをしてくれたり、ひまわり畑の栽培活動を指導してくれたり、土用の丑の日には魚屋さんが子どもたちの前で活きたウナギをさばってくれた。

子育て支援の取り組み

園庭開放では、地域に保育園を開放する園庭開放をほぼ毎月開催した。園庭開放がきっかけとなって保育園へ、親子で足を運び、子どもたちが生活する様子を実際に見ることで、一時保育の利用を希望する地域の方が増加した。

医療生協と共に行っている子育て支援は、毎月の子育てサポート委員会で協議し、具体化している。具体的には、「どんぐりフェスタ」「ママ's カフェ」「タッチケア」「夏休み宿題応援隊」などがある。特に「夏休み宿題応援隊」は、参加者が自分の力を発揮できるような取り組みを展開し、楽しい時間が過ごせると大変好評だった。参加したボランティアのみなさんも、保育園の環境や園の子ども達が主体的に生活している様子を見て感心してと感想を述べられた。

子どもがさまざまな世代の人と交流し、普段とは違うその場での振る舞い方を学んだり、たくさんの人に見守られ、大切にされている実感を持つことのできる機会となった。また、これらの取り組みを通して、岡山協立保育園を広く知っていただく機会にもできたと感じる。

一時保育事業

地域の利用者の受け入れを開始し丸5年が経過した。現在は、7時30分から19時までの利用が可能のため、仕事が決まり認可保育園への入園申請を出しているが、定員がいっぱいなどの理由で入園できなかった児童の利用が増えている。また、ひとり親家庭や住民税非課税世帯の方が、多く利用する傾向がみられた。認可保育園が足りず、行き場のない児童が、福祉事務所の紹介により当保育園の一時保育を利用することが多かった。

利用状況：のべ利用児童数	3,699人
就労理由での利用児童数	1,955人(52.9%)

職員研修

私たちの園では、さまざまな研修会に参加しているが、今年度は、講師を招いての研修会に力を入れた。これは、若い職員が多くなっている中で、職員みんなで保育を観察したり分析したり、講師の先生に助言を頂くことで、理論と実践を結び付ける力を身につけるためだ。

また、発達の学習にも力を入れた。私たちは、子どもの発達段階を理解し、保育を具体化するために職員みんなで学ぶ機会を大切にしたい。

今年も園内研修は、すべて公開し、ともに学ぶ仲間がいることで、保育をよりよいものにしたという思いを共有でき、私たちにとっても励みになった。研修内容は、以下のような内容だった。

< 保育実践学習 >

観察後、実践場面を録画したVTRを使い、自分の保育を客観的に見ながら課題を明らかにした。子どもの現状や発達にあった環境構成や教材の準備、子どもの日課や大人の動きの見直し、クラスが抱えている問題についてどうすれば解決できるかを職員集団で話し合った。

その中で、気が付いたことや提案されたことについては、職員が自分の問題として納得し取り

組めることから実践していくように心がけた。

見直しの中で、子どもが能動的に遊べるようになったり、子どもと大人の関係性がより深まるなど、自分たちがやってみたことの結果で実感することができ、職員の自信につながったのではないかと思う。

< わらべうた研修 >

講師の先生に実践を観察していただいた後、クラスごとに、年齢に合ったすすめ方や、大切にすることなどの話し合いをもち深めていった。

夕方から取り組んだ「わらべうたをうたう会」では、レパートリーを増やすだけでなく、そのわらべうたが生まれた背景を教えてもらったり、どうやって遊ばれていたかなど、うたの背景を知っていくことで、その情景を思い浮かべながらあそぶことの大切さについても学習することができた。

< 乳児保育研修 >

講師の先生と今年度の課題を話し合い、「あそび」をテーマに学習することにした。特に、遊びの援助の仕方について、子どもが自ら遊ぶあそびを、より発展させるための働きかけや環境のビデオを見たり、話し合うことで学んだ。

< 発達研修 >

「乳児期（0歳）の発達の魅力と保育・子育て」の研修会を開いた。これは、2014年は3歳未満児と3歳以上児の2回行った。今回は、就学前を3つの段階に分け、0歳児を3時間かけて丁寧に講演していただいた。この会には、公私立保育園や無認可保育園の園長や保育士、保護者、元教員など幅広い参加があった。琵琶湖学園の子どもたちの話やチンパンジーやボノボの話なども交えながらの講演や実際の発達診断テストを交えながら行った。子どもの育ちは、単にそれぞれの分野でできるようになるといった単純なものではなく、関連しながら総合的に質が変わっていくことやエネルギーの強さが大切であることなどを学んだ。参加者にも好評だった。

経営報告

< 総合評価 >

園舎の増築にともない、保育所施設・設備整備積立預金 15,000 千円を取り崩して、園舎の取得費用に充てた。増築工事に伴う収入としては、施設整備等補助金収入 35,521 千円、設備資金借入金収入 50,200 千円があった。園舎の増築に要した費用は 106,649 千円（うち 7,761 千円は昨年度執行済み）となり、積立金・補助金・借入金から 100,721 千円を負担し、残りの 1,833 千円を委託費等の事業活動収入から支出した。しかし、当初の計画において設備資金借入金を 32,800 千円で計画していたところ、補助金申請書類等の要件により 50,200 千円の借入となったため収支に剰余が発生して、保育所施設・設備整備積立金 22,000 千円を積み立てた。

貸借対照表で前年度末と比較すると、流動資産は 2,810 千円、固定資産は 98,912 千円増加しており、当期活動増減差額も前年度より 2,795 千円の増加となった。経営状態は良好であるといえる。

< 寄付の受領 >

子どもたちが育つ環境をよりよくすること、また、その環境の維持を願って父母の会が中心となり、総額 2,341,216 円の寄付を受領した。（内訳；父母の会 1,016,000 円、岡山医療生協 500,000 円、(株)協同プランニング 100,000 円、職員 500,000 円、その他の個人や団体 225,216 円）。

そのうち、1,743,216 円は保育園で受領し、寄付者の意向により増築にあわせて設置をした半屋内広場の固定遊具の取得費用や保育室の環境を充実するための室内遊具やおもちゃの購入費用に充当した。

598,000 円は法人への寄付として受領した。